

Jトラスト株式会社

第43回定時株主総会 質疑応答要旨

当社株主総会における株主様からの主なご質問とご回答の要旨です。

Q	決算期の変更及び配当について
A	グループにおける主要な海外子会社は、暦年での会計期間を採用しており、日本のみ決算期が3月末でした。グループ全体の会計期間を暦年に統一することで、決算の効率化や作業コストを削減いたします。 2019年3月期に多額の損失を計上したことに鑑みて、今期の年間配当額は1円と致しました。今後は、しっかり業績を回復して、一日もはやく過去の配当レベルに戻すようにしていきたいと考えております。
Q	情報管理および役員の経営への取組み姿勢について
A	Jトラストでは、情報管理や株式売買について厳しい社内規定を設けており、役員・社員に遵守させております。役員は、鋭意その職務に注力しており、ご安心頂きたく存じます。
Q	2019年3月期第3四半期における引当金計上について
A	Jトラスト銀行インドネシアにおいて、前経営体制時に拡大路線を図る中で不良債権が生じ、精査した結果、不良債権を一括処理しました。 また、Group Lease に対する債権については、現状を鑑みて一旦、引当金を全額計上しました。しかしながら、回収のための法的手続は徹底して行ってまいります。
Q	世界の金融情勢や金利の影響について
A	先進国における低金利政策により、途上国との間で金利差が大きくなれば、弊社のビジネスチャンスも広がると考えています。また、為替リスクについては、財務部にてリスクの管理、分散をしております。

以上